



なるほど！医療講座

著：串間市民病院 エコー室
超音波検査士 川俣 貴靖

「超音波検査は地域医療に貢献することができる」

超音波検査(以下、エコー)は、超音波を発信して超音波が体の中を通り抜け、反射する性質を利用して体内を観察します。その原理は、魚群探知機にも利用されています。人体への影響はほとんどなく妊婦にも安心して使用することができます。今回は、当院での代表的な取り組みを紹介します。第一に症状による病気のふるいわけや精密検査が必要かを知ることができ、お腹が痛いという症状に対し、医師は問診や病歴、身体所見などから正確な診断が必要ですが、年齢や病態によっては情報が乏しく、診断が困難な場合があります。エコーで由来臓器や病態を把握できれば、必要に応じて内視鏡検査やCT検査などの精密検査を追加することで、不要不急な検査や患者負担を減らすことができます。第二に、病気の緊急度や重症度を知ることができます。急性腹症とは、急激な腹痛によって緊急手術の適応か否かの判断が要求される症候です。急性虫垂炎、いわゆる「もうちよう」が有名で、右下腹部の強い痛みをきっかけとして受診されることが多く、緊急手術の対象となります。当院では、まずエコーで疾患

の鑑別や緊急度を評価します。また、エコーは層構造の観察に適しており、詳細な観察をすることで重症度を正確に評価することができます。急性虫垂炎を否定できれば、保存的治療となり不要な手術を避けることができます。イレウス(腸閉塞)も重要です。イレウスは急激に状態が悪化、重篤な全身症状を起こすことがあり、早急に適切な処置が必要です。エコーでは、腸管拡張の程度、範囲、動き、腸管周囲の腹水や膿瘍などを観察することで、病態や原因を把握し、適切な処置ができます。エコーで濁った腹水と拡張した腸管を指摘し、緊急手術となった症例もあります。第三に、手術前の心臓機能や弁膜症を評価することで、手術中の麻酔管理や手術後の合併症管理に有用であり、医療の安全に貢献することができます。また、検診において、生活習慣病やがんの早期発見に利用されます。エコーの診断能や検出能は検査者と装置に依存し、施設で大きく異なります。当院では、日本超音波医学会で認定を受けた超音波検査士が担当します。これは、一定の知識や経験を客観的に評価するものです。診断装

置は、最良の機器を導入しています。しかし、最も重要なことは、エコーの適応と利用の仕方です。当院では、エコー知識や経験はカンファレンスを通じて共有され、チーム医療体制が推進されています。症例に応じて内科や外科、整形外科、泌尿器科および産婦人科が職種あるいは職域を越えて、横断的に連携することが重要です。さらに、チーム医療は、地域医療へ発展させることができます。最近では、外科医がひとり体制になりながらも、宮崎大学との連携システムを構築され緊急手術に対応する。あるいは、ヘリコプターで宮崎大学に搬送して救命するなど、的確かつ迅速な対応を地域住民に提供することができます。このような取り組みを研修医の先生方にみてもらうことで、エコーだけでなくチーム医療を、さらには地域医療のあり方を学んでいただくことにしています。最後に、地域医療こそ、最新最良の医療水準および医療システムが提供されるべきです。エコーを通じて地域医療に貢献できるように、日々真剣に、そして、一生懸命に取り組みたいと思っています。

学校へ行こう

■ 宮崎県立福島高校 (早日渡志郎校長・287人)

忙しい中、電話取材に応じてくれた石上三四郎さん。ヘアメイクを担当したCM撮影での一コマ。



輝く卒業生～ヘアメイクの第一線で働く～

大切なのは、夢をあきらめないこと

今月は、福島高校の輝く卒業生をご紹介します。

伝説の卒業式

平成15年3月、同校卒業式。卒業生退場の場面で、1人の卒業生が「わたしたちに時間をください」と申し出ました。

彼は卒業生を代表し、先生や保護者に多くの迷惑をかけたことを詫言、感謝の言葉を贈りました。最後は両親に向かい「毎日、早朝から弁当を作ってくれてありがとう」と結び、会場は感動の渦に。以来、伝説の卒業式となりました。

ヘアメイクの第一線で活躍

前述の生徒は、都井地区出身の石上三四郎さん(現在27歳)。東京青山の某有名サロンで6年修行を積み、現在、東京在住でフリーのヘアメイクをしています。ヘアメイクは

CMや雑誌撮影などのために、ヘアスタイリングやメイクアップを施す仕事。美容師とは一線を画します。今も数々の有名アーティストのヘアメイクを担当し、輝く夢の舞台で活躍する三四郎さん。同校在校生や若い世代の皆さんへメッセージを贈ります。

「夢は、決してあきらめないことです。そして、好きなことを仕事にできる喜びをぜひ、感じてほしい。そして何の仕事でも人間が相手です。僕の仕事はヘアメイク。いわゆる裏方。技術はできて当たり前。でも結局は対人間なので、友だち付き合いが下手な人や謙虚な気持ちがない人は仕事はなくなっていくと思います。自分もまだまだ成長段階。もっと上にいけるよう頑張ります。お互い頑張ろう」

当時PTA会長の堀口勝郎さん



努力すれば夢は叶う

堀口勝郎さんはこう語ります。「わたしも、石上くんのあの時の言葉に感動しました。迷惑をかけたことを詫言、感謝の意を素直に表現していました。これが今の彼の成功に繋がっているのだと思います。彼は、確固たる目標を立て、相当な努力を積んだはずなんです。同校には彼をはじめ、いろいろところで活躍する先輩が数多くいます。在校生の皆さんも、夢に向かい大きく羽ばたいてほしいですね」